

政策整理番号 23

## 評価シート(A) (政策評価:政策を構成する施策の評価)

対象年度

H18

作成部課室

教育庁 生涯学習課

関係部課室

## A-1-1 政策と施策の関係・施策の体系

政策名

生涯にわたって学び楽しめる環境の充実

政策番号

3 - 7 - 2

政策概要

県民のだれもが、いつでも、主体的、自発的に学ぶことができ、生涯にわたって、自分を磨き、自己を充実させ、豊かで生きがいのある生活を送ることができるような環境づくりを目指します。

施策番号	政策を構成する施策名	政策評価指標	達成度	社会経済情勢を示すデータの推移
	施策の概要			
1	多様なニーズに対応した学習機会の提供 県民のだれもが、主体的・自発的に学ぶことができる、多様な学習機会の提供を目指します。	みやぎ県民大学受講者数(累計)	A	該当なし
		公立図書館における図書資料貸出数(県民一人当たり)	B	
2	地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成 地域の学習グループの相談に応じたり、様々な学習機会を企画立案できる人材やNPOなどの発掘・育成を目指します。			
3	行政、大学及びNPO等生涯学習に関わる様々な機関・団体のネットワーク化 生涯学習に関わる様々な機関や団体が、それぞれの役割や特性を踏まえ、相互に連携・協力して適切な生涯学習事業が進められるように、行政、大学等、関係機関・団体のネットワーク化を推進します。			
4	生涯学習を支援する関連施設の整備・充実 人々の学習の場としての機能にとどまらず、交流の場や情報センター、地域づくりの場としての機能を果たす、生涯学習関連施設の整備・充実を目指します。			
5	生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実 それぞれの地域、家庭に居ながらにして、容易に生涯学習に関する情報を得られるように、様々な情報提供システムの充実を目指します。			

政策評価指標の達成度:A(目標値を達成している)、B(目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す方向に推移している)  
C(目標値を達成しておらず、設定時の値からみて指標が目指す方向と逆方法に推移している)  
...(現状値が把握できない等のため判定不能)

政策評価指標の詳細は各施策の「政策評価指標分析カード」を参照してください。

## A-1 施策群設定の妥当性

適切

【評価の根拠】 各施策が政策の目的に沿っているか、社会情勢から見て必要か、重複や矛盾がないか

- ・「生涯にわたって学び楽しめる環境の充実」という政策を実現するには、5つの施策全てが必要であり、施策間での重複や矛盾はない。
- ・学校教育、社会教育、ともに包括する生涯学習の必要性は今後ますます高まることはあっても、低くなることはない。

## A-2 政策評価指標群の妥当性

政策評価指標については「政策評価指標分析カード」もご覧ください。

適切

【評価の根拠】 各政策評価指標は施策の有効性を評価する上で適切か

- ・2つの指標は、ともに生涯学習機会の提供の進捗状況を示すものであり、適切である。

A - 3 施策の有効性 概ね有効

施策番号	施策の有効性	【評価の根拠】 「政策評価指標の達成度」及び「社会経済情勢を示すデータの推移」から見て施策が有効か
1	概ね有効	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みやぎ県民大学受講者数(累計)」については、事業費が大幅に縮減されたにもかかわらず、前年度より28人増加し、目標値を達成した。</li> <li>・「公立図書館における図書資料貸出数(県民一人当たり)」については、前年度より0.1冊減り、目標値には及ばなかったものの、設定時と比較した場合、増加傾向にあることは間違いない。なお、県図書館から市町村図書館への協力貸出数については、前年度をも上回っている。</li> </ul>
2		
3		
4		
5		
政策全体	概ね有効	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みやぎ県民大学受講者数(累計)」については、事業費が大幅に縮減されたにもかかわらず、前年度より28人増加し、目標値を達成した。</li> <li>・「公立図書館における図書資料貸出数(県民一人当たり)」については、前年度より0.1冊減り、目標値には及ばなかったものの、設定時と比較した場合、増加傾向にあることは間違いない。なお、県図書館から市町村図書館への協力貸出数については、前年度をも上回っている。</li> <li>・以上のことから、生涯にわたって学び楽しめる環境づくりは、ある程度進んでいると判断する。</li> </ul>

A 政策評価(総括) 概ね適切

【評価の根拠】	A-1, 2, 3を総括し政策を総合的に評価
	<p>・人口の高齢化等、社会経済情勢から政策を構成する施策の必要性は十分に認められる。また、政策評価指標の達成度から判断した場合、図書資料貸出数については、目標値をかなり高く設定していたこともあり、達成できなかったものの、みやぎ県民大学受講者数については達成しており、当政策の目的である「生涯にわたって学び楽しめる環境の充実」は、進んでいることには間違いないことであり、「概ね適切」と判断する。</p> <p>【課題】 この政策(各施策)における今後の課題等を記載</p> <p>・生涯学習施設の中心施設である図書館の設置率が、市は13市すべてに図書館があるものの、町村においては23町村中8町にのみあり、その設置率は34.8%と低い。今後、この数値を高めていく取り組みが必要である。</p>